

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	644 佐那具千歳線道路改良事業	会計	01	一般会計
		款	08	土木費
		項	02	道路りよう費
基本	50 市内道路網を機能的に強化する	目	03	道路新設改良費
		細目	344	社会資本整備総合交付金事業
行革大綱の重点事項番号		細々目	56	佐那具千歳線道路改良事業
担当部課	コード	190500	担当者	43 - 2323
	名称	産業建設部建設1課	氏名	山本 昇 連絡先 (内線) 236

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	大山田地区からJR佐那具駅、工業団地へアクセスする人 ※対象件数
成果(どうする)	移動時間が短縮され、主要道路の交通停滞の解消が図れる。
根拠法令・要綱等	道路構造令、アスファルト舗装要綱
開始年度	平成 18 年度
終了年度	平成 25 年度
H22 事業内容	事業計画延長950m 道路幅員7.0m
	残整備区間320mの事業計画説明と用地・補償交渉を進めた。
社会情勢の変化等	市の骨格を形成する幹線道路網を早期に構築するため、主要道路事業を早期に完成させて、費用対効果を向上させる。また、工事に際しては環境負荷の少ない工法や機材を使用する。

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	伊賀市佐那具・千歳地内 全道路用地取得面積6.761m <sup>2</sup>
2 建設面積(延床面積)	計画延長L=950m
3 規模・構造	道路構造令第3種4級(W=7.0m V=40km/h)
4 総事業費	358,000 千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
道路改良延長		m	目標 360	目標		260
			実績 360	実績		
道路用地取得面積		m <sup>2</sup>	目標	目標 1,190	400	600
			実績	実績 0		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
道路整備による作業進捗		事業効果を高めるため短期間での事業完了に努める(執行済事業費/総事業費)	%	目標 43	目標 43	59	89
				実績 43	実績 43		
				目標	目標		
				実績	実績		

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
Aの財源内訳	国庫支出金	16,170	0	5,500	41,250
	県支出金	12,500	0	4,500	33,400
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	730	0	250	1,850
事業投入人件費(B)		1.5人 10,800	0.5人 3,600	1.5人 10,800	1.5人 10,800
フルコスト(A)+(B)		40,200	3,600	21,050	87,300

事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対応し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
有効性	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	○
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
達成度	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
効率性	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	○
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	市の骨格を形成する重要な幹線道路であり、工事は整備区間の66%が完成し既に供用開始しているため、速やかに工事を完成させ交通アクセスを向上させる必要がある。	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
昨年度	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を	100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無	無
効果性	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	○
	【事業名】 道整備交付金事業 ゆめが丘掘見線 受益者負担を求めることができる事業である。	
全体コストにおける負担構成は適正である。		
コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	地域活力基盤創造計画が平成25年度までの期間のパッケージ事業であるため、平成25年度までに完成を目指して取り組んでいく。
昨年度	【状況】 計画のとおり進んでいる
取組状況	【詳細】 残整備区間320mの用地・補償交渉を進めた。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	北山 太加視
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 本路線は国道25号線(伊賀市佐那具町)から市道千歳千戸線を経て国道163号線(伊賀市千戸)に至る幹線道路で、工事は整備区間の66%が完成し既に供用開始しているため、速やかに工事を完成させ交通アクセスを向上させる必要がある。
現時点における課題、その他	未買収用地の取得及び補償交渉の推進。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	代替地の確保等を行い、工事の進捗を図る。平成25年度完成を目指して取組む。